

企画展 貴重資料から見る台東区の道

人の行き交う場所の地面が踏みならされ、できた通路が“道”の起こりです。やがて道は、より往来が容易になり、物資の運搬が可能となるよう舗装・整備され、幅の広い道路へと発展していきます。現代では、自動車などの車両で移動できるよう、あらゆる場所で道路の整備が進んでいます。道は人々の暮らしに不可欠な交通の要と言えるでしょう。

本企画展では、台東区立中央図書館で所蔵している浮世絵、絵はがき等の貴重資料から、台東区の様々な道をご紹介します。



(帝都名所)上野広小路より上野公園を望む



東都名所 新吉原五丁町弥生花盛全図(部分)



東京浅草観世音並二公園地煉瓦屋新築繁盛新地遠景之図(部分)



東京真画名所図解 今戸有明楼



東京三十六景 吉原見帰り柳

図書館職員による ギャラリー・トーク

内容 展示品を見ながら解説

日時 4月16日(日) 午後4時15分～45分

5月28日(日) 午後4時15分～45分

会場 台東区立中央図書館 2階
郷土・資料調査室

定員 先着8名

申込 2階郷土カウンターまたは電話での申込

※参加ご希望の方は、ホームページの注意事項をご確認のうえお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催期間等が変更になる場合があります。